

学校図書館の現状と取り組み

坂井君子

柴田祥平

1：はじめに

「学校図書館法の一部を改正する法律」が平成 26 年 6 月 27 日に公布された。その改正法の趣旨として、文部科学省は「学校教育において、児童生徒の確かな学力の育成には、言語活動や探求的な学習の充実が必要であり、同時に、読書活動等を通じて児童生徒の豊かな人間性を形成していくことが求められている。これらの活動の充実のためには、学校図書館が利活用できるよう、整備を進めることが重要である。改正法は、この重要性に鑑み、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童生徒及び教員による利用の一層の促進に資するため、司書教諭等と連携しながら、その機能向上の役割を担う専ら学校図書館の事務に従事する職員を学校司書として位置付け、これを学校に置くように努めること等について定める」という見解を示している。この現状を鑑みるに、司書教諭や学校司書を中心として、学校図書館を利活用した読書活動の充実を目指すことが現在の学校には求められていることがわかる。この報告は、学校司書と図書班を中心とした、学校における読書活動を推進するための活動の概要である。

2：活動を円滑に行うための連携

高等学校においては、現在「主体的・対話的で深い学び」が求められている。その学びの達成のためには、生徒が自ら資料を調べ、考えを深める機会が必要となる。学校図書館は、資料提供を通してその学びの支援を行う。まず、年度当初の教育計画や年間の指導計画をたてる際に、各教科で多様な資料に触れる必要性を教員全体に呼びかける。さらに、各教科がカリキュラムを作成する機会に、図書館活用に関する記述をカリキュラムの中に盛り込むように呼びかけた。こうして、主体的・対話的で深い学びのために図書館を使うことの意義を各教科の教員と共有した。

3：読書活動を設ける

高等学校において、普段忙しい中で読書時間の確保ができない生徒に対し、本に触れる機会を設け読書の関心を高めるために、ホームルームの活動や読書週間の設定などを行った。

ホームルームでは、年に 1 回読書会を開催する。その流れとして、その意図と効果をまず図書班の教員が各クラス担任に伝える。生徒には、図書委員を通じ周知を図る。読書会は、図書委員が主体的に計画し、テキストの選定から運営までを行う。しかし、適宜クラス担任・司書教諭・学校司書が助言を行い、読書会が円滑に進むように支援する。

そして、読書週間は前期・後期の 2 回設定した。この期間中に、読書に関するイベント

を実施し、活動を通じて本に触れる機会を設けた。具体的には、まず「読書でビンゴ」の実施。0～9の分類番号を印字した紙を生徒に配布し、分類番号の本を借りて読んだ後にチェックを入れ、より多くのビンゴを達成することを目指すというものである。二つ目はポップの作成。図書委員を中心に生徒自身が自ら誰かにすすめたい本を1冊選び、その本のポップを作って校内に掲示する。三つ目は「読書クラスマッチ」の実施。約1か月の間に、貸出冊数の多かったクラスを表彰するというものである。不読者を減らすために実施し、クラス全体で取り組むようにしかけた。

そのほかに、特に期間を設けない取り組みとして、「百花良読」を実施した。これは、在学中3年間で100冊以上借りる呼びかけを行い、100冊達成した生徒を卒業時に表彰するという取り組みである。また冬休みに、後述する「必読30選」から1冊選び、キャッチコピーを作成して提出する取り組みも行った。集まったものから面白いものは、図書館に掲示したり図書館だよりに記載したりすることで、他の生徒に見てもらった。

4：よい本に触れる

生徒の自主性にゆだね、さまざまな本に自ら触れることが最も大切である。しかし、時にどんな本を読んでよいか迷う生徒も見受けられる。そんな生徒に、おすすめの本を示すことも、読書活動を活性化するには大切であると考え。そのために、定期的な情報発信と、良書のリスト作成を行ってきた。

定期的な情報発信としては、図書館だよりを発行した。図書館だよりでは、教員からおすすめの1冊とそれにまつわるエピソードを書いてもらったり、新着図書案内を載せたり、学校行事に関する資料の紹介をしたりなどの発信を行った。

また、学校では様々なジャンルから選んだ「必読30選」をリスト形式にしてまとめ生徒に周知した。卒業までに読むように呼びかけ、読書感想文などの諸機会に触れるようにしている。さらに、多様な興味に対応するため、必読30選をきっかけに幅広い読書活動ができるよう、「推薦図書100選」も設けた。

5：まとめ

以上学校司書と図書班が行ってきた様々な取り組みを紹介してきた。この中には、効果のあった取り組みもあれば、まだ改善の余地のある取り組みもある。読書活動をさらに推進していくにあたり、これまでの取り組みをよりよいものとしていきたい。

(さかい・きみこ しばた・しょうへい 大分上野丘高校)